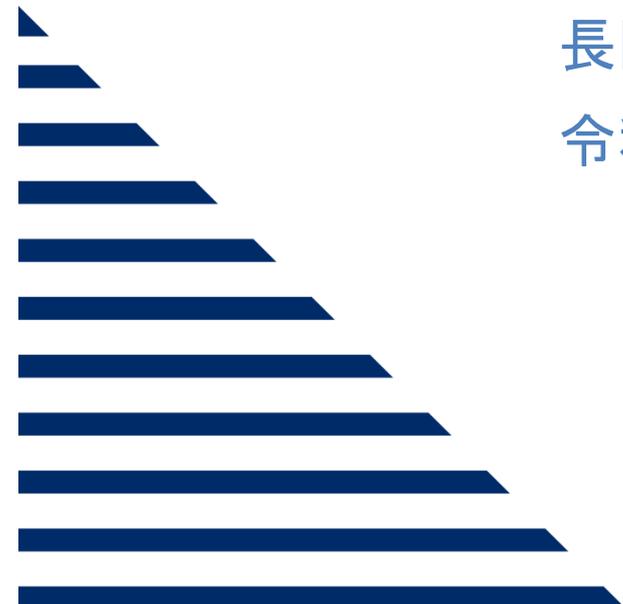




長岡京市第二期環境基本計画実施計画  
進捗報告書  
令和元年度評価結果



つむぎ織りなす  
“環境の都” 長岡京



長岡京市役所  
令和3年1月

# 目次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 2019ハイライト！                 | 1  |
| 長岡京市第二期環境基本計画について          | 3  |
| 1、エネルギーを大切にすまちづくり          | 4  |
| 2、資源循環型社会の形成               | 12 |
| 3、自然環境の保全                  | 17 |
| 4、快適な都市環境づくり               | 22 |
| 5、協働・環境学習・エコアクションの推進       | 28 |
| ●長岡京市第二期環境基本計画成果指標の現状値について | 33 |
| ●令和元年度全体の評価                | 34 |
| ●長岡京市生活環境審議会の評価・意見および市の考え方 | 35 |

# 2019ハイライト!

## 第11回環境フェアの開催

令和元年11月16日（土）長岡京市立中央公民館・市民ひろばで11回目となる環境フェアを開催しました。テーマは“令和もクールに 未来を決める 賢い選択～”とし、35の事業所や環境ボランティア団体などに出展いただきました。

平成30年4月に市としてCOOL CHOICE宣言を行いました。広く市民の皆さまにCOOL CHOICEを知っていただくため、引き続き各ブースでCOOL CHOICEとかけた環境の取り組みをPRしていただきました。

来場者は、前年の10回記念と同程度の約1,200人の来場があったものと見ており、活気に満ちたイベントとなりました。

ブースでの出展以外にも、市民ホールでは、午前中に、各種表彰式や「子ども環境フェスティバル」を開催しました。「子ども環境フェスティバル」では、夏休みの自由研究で環境に関する分野に取り組んだ児童3人に、工夫した点などを元気よく発表してもらいました。

集客に重要な役割を果たす飲食ブースにおいても、環境とかけた飲食提供を行っていただきました。食品ロス削減に取り組むフードバンク長岡京のブースでは、賞味期限が近く、廃棄される可能性の高い食品を有効活用し、カレーの販売を行っていただきました。今後も多くの事業所・団体様と連携し、環境への取り組みを広めていきます。



## 令和元年度 “環境の都” 賞受賞者



### 篠崎 真さん

NPO 法人竹の学校の一員として 2008 年頃より放置竹林問題に関わり始め、2010 年には、ご自身の団体である「里山資源」を設立されました。団体活動の中で、放置竹林の伐採活動に取り組みられた他、独自の視点で竹の化学利用を提案されています。特に、天然の緑色素として褐色防止技術を開発し、得られた成果を、興味を持つ企業や団体に無償で技術指導されています。

さらには、複数の環境団体での活動の中で、広く市民に竹に親しんでもらい、竹の需要を喚起するために、竹検定・竹セミナーなど、様々な活動に中心的メンバーとして取り組まれています。幼少期から人生を通して環境問題に深い関心を持っておられ、大学では光化学大気汚染をテーマに博士号を取得され、今は竹文化について記事を執筆し、雑誌に掲載されたりもしています。



### 西村 日出男さん

平成 14 年に発足した「環境の都づくり会議」の初期の頃のメンバーとして、「環境教育ミーティングプロジェクト」を立ち上げられました。プロジェクトリーダーとして、様々な環境テーマを題材に、環境教育ミーティングを主催され、平成 30 年度に 100 回を達成されました。また、平成 26 年からは、同会の副代表も務められ、活動全般に貢献されると共に、SDGs を推進する「こここ CO プロジェクト」を立ち上げられました。

さらには、長岡京市ステップアップ・チャレンジ会議のメンバーとして、「長岡京環境検定」の創設に尽力され、平成 26 年度に第 1 回を開催されました。その後も、検定の認知度を上げるため努力をされ、令和元年度に 6 回目の開催を迎えられました。

その他、環境の分野を超えた活動にも、中核メンバーとして取り組まれ、今もなお様々な場面でご活躍されています。

## 再エネ工作教室の実施

子どもやその保護者など、環境について比較的意識することの少ない層への啓発を強化するため、従来の環境講演会に代え、再エネ工作教室を実施しました。実施にあたっては、実験などを交え、楽しみながら考えてもらうことで、環境問題への理解を深められたと考えます。

